

国民年金第1号被保険者の独自給付

●付加年金

第1号被保険者・任意加入被保険者が定額保険料に付加保険料（月額400円）をプラスして納付すると、老齢基礎年金に付加年金が上乗せされます。

- ・付加年金の年金額は、200円×付加保険料納付月数です。
- ・付加年金は、老齢基礎年金と合わせて受給できる終身年金ですが、定額のため、物価スライド（増額・減額）はありません。
- ・国民年金基金に加入中の方は、付加保険料を納付できません。
- ・付加保険料の納付は、申し込んだ月分からになります。納付期限は翌月末日（休日・祝日の場合は翌営業日）です。納付期限を経過した場合でも、期限から2年間は付加保険料を納めることができます。

●寡婦年金

死亡日の前日において、第1号被保険者として保険料を納めた期間および保険料免除期間が10年以上ある夫が亡くなったときに、その夫と10年以上継続して婚姻関係にあり、死亡当時にその夫に生計を維持されていた妻に対して、その妻が60歳から65歳になるまでの間支給されます。

- ・年金額は、夫の第1号被保険者期間だけで計算した老齢基礎年金額の4分の3です。
- ・亡くなった夫が、老齢基礎年金・障害基礎年金を受けたことがある場合は支給されません。
- ・妻が繰り上げ支給の老齢基礎年金を受けているときは支給されません。

●死亡一時金

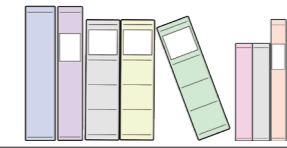
死亡日の前日において、第1号被保険者として保険料を納めた月数（4分の3納付月数は4分の3月、半額納付月数は2分の1月、4分の1納付月数は4分の1月として計算）が36月以上ある方が、老齢基礎年金・障害基礎年金を受けないまま亡くなったとき、その方によって生計を同じくしていた遺族（配偶者・子・父母・孫・祖父母・兄弟姉妹の中で優先順位の高い方）に支給されます。

- ・死亡一時金の額は、保険料を納めた月数に応じて120,000円から320,000円です。
- ・付加保険料を納めた月数が36月以上ある場合は、8,500円が加算されます。
- ・遺族基礎年金の支給を受けられるときは支給されません。
- ・寡婦年金を受けられる場合は、どちらか一方を選択します。
- ・死亡一時金を受ける権利の時効は、死亡日の翌日から2年です。

閩住民生活課戸籍住民係
閩北見年金事務所お客様相談室
☎0157-25-8703
(自動音声案内1→2)

図書館情報

ゆ〜とぴあ NEWS



雄武町図書館(雄武町末広町二区)

☎0158-84-2404
10時～19時(火～金曜日)
10時～18時(土・日、祝日)
休館日 月曜日、年末年始、
蔵書点検期間

図書館ホームページ



https://www.town.oumu.hokkaido.jp/kanko_bunka_sports/toshokan/index.html

雑誌のラインナップが変わります

雑誌の休刊や総選挙の結果に伴い、一部雑誌の取り扱いを終了することとなりました。新規に取り扱う雑誌につきましては、発売次第順次登録してまいりますのでどうぞお楽しみに！

取り扱いを終了する雑誌	新しく購入する雑誌
・赤ちゃん！	・SS [スモールエス]
・Ho [ほ]	・ね〜ね〜
・Myoujyo	・日経ヘルス
・北海道生活	・ことりっぴマガジン
・ガルヴィ	・ねこ
・SWITCH	・kodomoe [コドモエ]
・陶遊	

山崎由貴さん 絵本巡回展

絵本・イラスト作家である山崎由貴さんの絵本巡回展を行います。

期 間 5月12日(火)～26日(火)

展示作品 「おすしアイドル」：原画

「ねりものハウス」：デジタル原画



今月の新着図書

Newly-imported books

Pickup!



シルバー川柳 いまが幸せ編

みやぎシルバーネット
+河出書房新社編集部 / 編
川柳に興味がなくとも大丈夫。思わず「あるある！」と言いたくなってしまおうような60～102歳のリアル・シルバーたちが詠んだ傑作川柳を180句収録。

Pickup!



かっこいいピンクをさがしに

なかむら るみ / 文・絵
建築、植物染色、口承文芸、化学、服飾、美術、写真、色彩論など、さまざまな分野の専門家に話を聞いてみると、多様多彩なピンクがあると知る。色への探究を通して、新たな視点に気づかされる本。

一般図書 (New!)

森羅記 (北方 謙三)
あなたの命綱 (久坂部 羊)
公務員の怖い話 (小田 イ輔)
超巨大歩行機ゴリアテ (椎名 誠)
スーパー電鳥殺人事件 (西村 京太郎)
天国からの宅配便 (柊 サナカ)
美人簿命 (深水 黎一郎)
サチコ (群 ようこ)

ほか多数

児童図書 (New!)

くつしたど〜こだ? (オガワ ナホ)
ぶりんぼよん (まめたろう)
地域ブランドで日本を知る (岩崎 邦彦)
昔の道具これってどう使う? (新田 太郎)
本のPOPを作ろう (櫛谷 孝徳)
はるをみつけたよ (平野 恵理子)
はたらく農家 (吉田 亮人)
はたらく洋菓子店 (吉田 亮人)

ほか多数